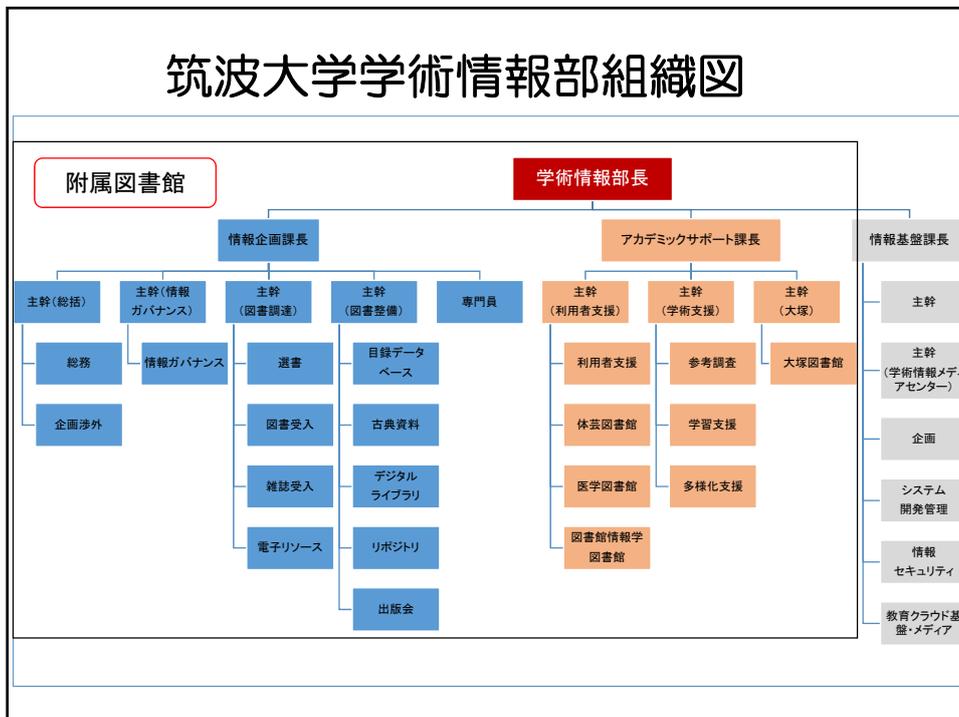


筑波大学附属図書館 (学術情報部) について

筑波大学学術情報部組織図



学術情報部の所掌

(学術情報部)

第18条の2の2 第10条第8号の学術情報部に置く課の名称は、次のとおりとする。

- (1) 情報企画課
- (2) アカデミックサポート課
- (3) 情報基盤課

附属図書館

「国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程」

情報企画課の業務

2 情報企画課は、次の業務を行う。

- (1) 図書館資料の収集及び管理に関すること。
- (2) 学内で生産された学術情報の収集及び発信に関すること。
- (3) 図書館システムの整備及び管理に関すること。
- (4) 情報ガバナンスに関すること。
- (5) 筑波大学出版会に関すること。

「国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程」

アカデミックサポート課の業務

3 アカデミックサポート課は、次の業務を行う。

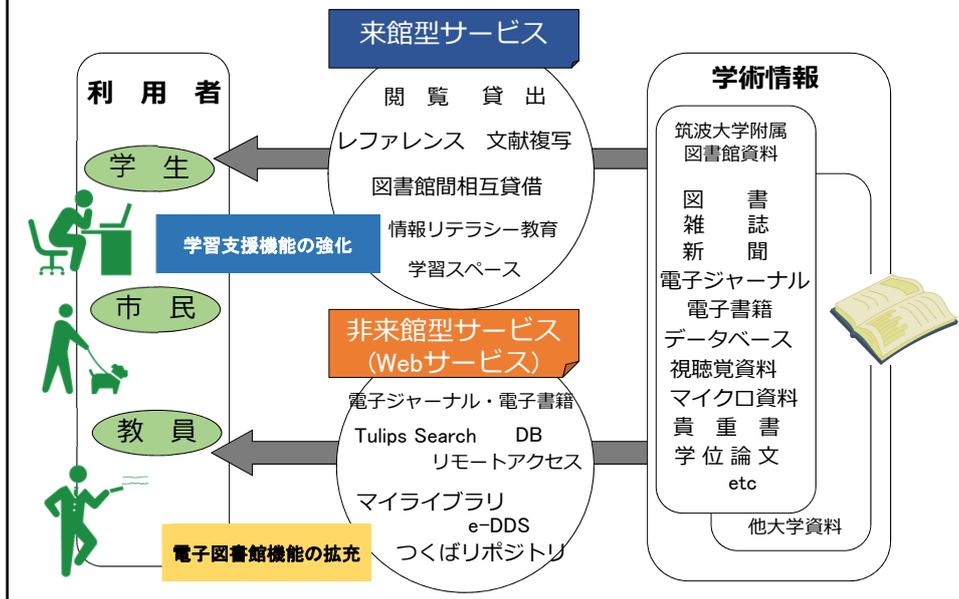
- (1) 学術情報の提供に関すること。
- (2) 図書館資料の相互利用に関すること。
- (3) 附属図書館における学習及び教育の支援に関すること。
- (4) 附属図書館における学習環境の整備に関すること。

「国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程」

中央図書館と4つの専門図書館



附属図書館のサービス



変わる大学図書館

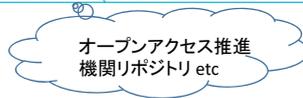
グループでディスカッション
しながら能動的・主体的な学
修習慣を身に付ける場へ



アクティブラーニング推進
ラーニングコモンズ etc

学習支援

研究成果の蓄積・発信



つくばリポジトリは、筑波大学で生み出された研究・教育成果（学術論文・博士論文・研究報告書・教材など）を永続的に蓄積・保存し、インターネットを通して誰でも無料でアクセスできるように公開する学術コンテンツデータベース。学内の研究者の業績の可視性が高まり、広く世間一般にアピールすることができる。

研究支援

障害のある学生への 資料電子化サービス

- 視覚障害やページめくりが困難な運動障害のある学生のために、図書や雑誌論文をPDFやテキストデータにして提供するサービス
- 平成29年4月～ ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター（DACセンター）と附属図書館とで取り組み開始
- 学習管理システム+国立国会図書館サイトから利用
- 令和元年6月「障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（通称：読書バリアフリー法）制定
 - 視覚障害者等の読書環境整備の推進に関する基本理念・施策の基本事項

附属高校へのサービス

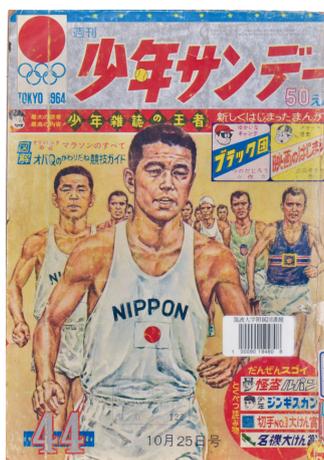
- 「高大連携図書館サービスパッケージ」（平成31年1月～）
 - 図書資料貸出サービス
 - レファレンスサービス
 - 文献複写サービス
- 附属高校の図書館や教員を窓口サービスを提供
 - 筑波大学附属高等学校、駒場中・高等学校、坂戸高等学校
- 近隣の高校（竹園高校、茗溪学園、並木中等教育学校）等へもサービス提供を試行

展示会による資料公開

「東京1964と日本文化について考える」
（令和元年11～12月）

電子展示「もう一度見たい名品
～蔵出し一挙公開～」

（令和2年12～3年2月）



特別展オフィシャル Web サイトで公開中

つくば市との連携・協力

- ・「つくば市域図書館連携に関する協定書」締結
（令和元年9月25日）
つくば市立図書館＋筑波大学附属図書館
情報、資源、活動成果等の交流促進・連携活用



令和元年11月2日、
協定締結記念セレモニーとイベント（ライブラリー・ピクニック）開催

名 称	筑波大学出版会 (University of Tsukuba Press)
設 立	平成19年7月1日
事業概要	(1) 研究成果としての学術書の刊行 (2) 効果的な教育の実施に資するための教科書の刊行 (3) 研究成果の普及のための学術的啓蒙書、一般教養書の刊行
出版会設立の目的	出版会は、先端的・独創的な研究成果としての学術書の刊行はもとより、人文科学、社会科学、ビジネス、自然科学、工学、農学、教育、体育、医療、環境、情報メディア、芸術にいたるまで筑波大学の幅広い分野の研究成果をわかりやすい形で社会に発信し、将来的には研究学園都市の研究機関における研究成果の発信も視野に置き、わが国の学術文化の振興に寄与することを目的とする。
出版方針	学術書を中心に教科書、指導書、一般教養書の刊行など総合的な学術出版を目指す。丁寧で質の高い本づくりを基本姿勢とし、本学の幅広い学問分野や学際性などを活かした企画、あるいは社会的関心の高いテーマを主題としたシリーズ企画など特色ある出版活動を展開することにより、出版会のブランドアイデンティティを確立する。
出版分野	哲学・思想/歴史・人類学/文芸・言語/教育学/心理学/障害科学/社会科学/社会工学/国際政治経済学/生物科学/農学/数学/物理学/化学/地球科学/工学/医学/体育科学/芸術学/図書館情報学/等

筑波大学出版会



筑波大学自然保護
寄附講座 編

2018年3月30日初版発行
ISBN978-4-904074-50-3
A5判／並製／258ページ
本体価格 2,900円＋税
【電子版】もあり



「科学の芽」賞実行委員
会 編

2018年7月31日初版発行
ISBN978-4-904074-53-4
B5判／並製／220ページ
本体価格 2,200円＋税
【電子版】もあり



筑波大学山岳科学セン
ター菅平高原実験所 編
町田 龍一郎 監修

2019年3月6日初版発行
ISBN978-4-904074-54-1
A5判／並製／156ページ
本体価格 1,950円＋税
【電子版】もあり

筑波大学附属図書館 先輩のメッセージ

西 彩花

学術情報部 アカデミックサポート課 学習支援担当

平成31年4月採用

試験区分：図書



附属図書館キャラクター
ちゅーりっぷさんと がまじやんぼー

私のお仕事

■ 現在の仕事内容について

主に、講習会業務や、学習支援業務の企画・運営をしています。

■ 印象に残っていること

「知の探検法」という授業で、学生さんと一緒に文献を探した体験です。学生さんたちが、図書館を主体的に活用しようという立場に変わっていく様子を感じることができました。

■ 心がけていること

「図書館を利用する方の目線に立つこと」を心がけています。図書館を通じて様々な方の「知りたい」に貢献できるよう、利用者に寄り添い最善を尽くす図書館員でありたいと思います。

■ 学習支援担当の1年



筑波大学を目指すみなさまへ

■ 筑波大学附属図書館の魅力

魅力は、「開かれた大学」の開かれた図書館であることだと思います。図書館ボランティアの活動をはじめ、2019年度には、つくば市立図書館と連携協定を結ぶなど、地域に開かれた図書館としても歩みを進めています。

■ 将来へのビジョン

変わり続ける社会で、図書館の可能性を広げていけたらいいなと思っています。情報提供の場としての図書館はもちろん、知を創造する場としての機能など、これからの図書館にできることを様々な視点から探していきたいです。希望あふれるみなさまと一緒できることをとても楽しみにしています。

■ 休みの日の過ごし方

お休みの日は、読書をしたり観劇をしたりしています。社会人になって、お仕事と生活が両立しやすくなったと感じています。学生のうちに見つけた趣味は大切にとっておくと、よい息抜きになるかもしれません。



筑波大学を目指すみなさまへ

■ ほかに図書系の先輩のメッセージはこちらから！

「国立大学法人筑波大学職員採用案内 2021」※p9(PDF10枚目)をご覧ください

<https://www.tsukuba.ac.jp/about/jobs-information/pdf/recruit.pdf>

アカデミックサポート課参考調査担当・上村悠（平成25年10月採用）

